

神戸大学生協 GI冬のフリマツリ

第133号



[組合員交流]

取り組み概要

日時：第一弾：12/16（木）～12/22（水）
第二弾：1/18（金）～1/20（木）

場所：生協店舗内

概要：神大生の不要な衣類を引き取り、それを安価で販売しました。

参加者：250点の衣類を回収。フリマ参加者は184人。売上金と残った衣類はすべて寄付しました。

あなたの「不要」は誰かの「必要」

POINT.1 服のお悩みを解決



大学生にとって、ファッションは重要です。しかし、今着ていない不要な服がたくさんある人も多いことでしょう。気に入っていた服を捨てるには忍びない。しかし捨てるには惜しい。神大GIはそんな学生の潜在的な悩みに問題意識を感じていました。そしてフリーマーケット（以下フリマ）という方式で不要な衣類を回収し、販売をしました。自分にとって不要なものでも、誰かにとっては役にたつのです。

POINT.2 フリマを通して生まれる交流

全部で250点の衣料品やアクセサリを回収し、回収した衣料品は学生に対して安価での販売を対面でおこないました。

インターネットでのフリマサービスが台頭していますが、顔の見えない取引であるため、トラブルも少なくありません。その点この企画では、同じ神大生という枠組みのなかで信用してやりとりができるという安心感もあります。そのため、このような機会に感謝している学生もいたようです。



POINT.3 情報宣伝にも一工夫を



この企画では、主にInstagramを使用して情報宣伝をおこないました。Instagramは近年学生の間では主流なSNSとなっています。その他にも呼び込みなども行い、184人の来場者がありました。学生の動向に沿って、適切な情報宣伝をおこなうことは企画の成功には欠かせません。

また企画責任者は、対面での授業が増え、学生がキャンパスに戻ってくればより大きな企画になるのではと期待に胸を膨らませていました。

